



高砂青松 Rotary Club

The Rotary Club of Takasago Seisho, Japan



卓 話 職業奉仕について

田 中 伸 明 会 員

初期のロータリー

会員の相互扶助（助け合い）と親睦のみを目的としていた。

会員相互の取引（原価の取引）

対外的宣伝協力

営業上の知恵の交換

例会毎に会員間の具体的取引な記録を発表

奉仕理念の確立

1906年 ドナルド・カーターの入会

社会に対する奉仕理念を提唱

1908年 アーサー・フレドリック・シェルドンの入会

今日の職業奉仕理念を提唱

商取引は、売り手と買い手の満足感の上に成り立つ

長期的に商売を成立させるためには、相互に信頼関係を確立する。

「He profits most who serves best.」

（最もよく奉仕するものが、最も多く報いられる。）

1911年 フランク・コリンズによる提唱

「Service, Not Self」（自己を犠牲にしての奉仕）

「Service, above Self」（超我の奉仕）奉仕第一，自己第二

道徳律の制定

1915年 サンフランシスコ大会での決議

「全分野の職業人を対象とするロータリー職業訓」（ロータリー道徳律）

大変高度な職業倫理を述べているが、あまりにも宗教性が高いということで

1980年シカゴでの規定審議会で削除された

1987年と2001年 2680地区大会での決議

「ロータリー職業訓」

奉仕の実際の方向づけ

1923年 奉仕の実践に関する決議34条第1項

「ロータリーの奉仕の理想（Ideal of Service）とは、



利己と利他との調和を目的とする人生の哲学である。」

利己的な欲求と他人への奉仕感情

この相反する二つの心の葛藤を調和

1942年 ハーバート・テラー「四つのテスト」

1943年 パーシー・ホジソン「奉仕こそ我が務め」

東洋の実業倫理と因縁論

易経（東洋思想の原点・陰陽道）

「積善の家に余慶あり，不積善の家に余殃あり」

伝教大師最澄（767年 - 822年）

「道心の中に衣食あり」

日蓮上人（1222年 - 1282年）

「人に物を施せば，わが身の助けとなる。

たとえば，人のために火を灯せば我が前明らかなるが如し」（食物三徳御書）

道元禅師（1200年 - 1253年）

「愚人思わくは，利他を先にすれば，みずからが利はぶかれぬべしと。

しかにはあらざるなり。利行は一法なり。あまねく自他を利するなり。」

（他人の利益を図る行為は，おのずから自利となる。）

昔から，「情けはひとのためならず」

二宮尊徳（1787年 - 1856年）報徳教（二宮翁夜話）の教え

「たとえればこの湯船の湯の如し。これを手にて己が方に搔けば湯わが方に来るがごとくなれども，みな向こうの方へ流れ帰るなり。これを向こうの方へ押すときは，湯向こうの方へ行くがごとくなれどもまた我が方へ流れ帰る。少しく押せば少しく帰り，強く押せば強く帰る。これ天理なり。それ仁と言い義というは向こうへ押すときの名なり。我が方へ搔くときは，不仁となり不義となる。」

「人体の組み立てを見るがよい。人の手は自分の方を向いて自分に便利にできているが，また向こうへも向き，向こうに押すことができる。これが人道のもとだ。鳥や獣の手は，人と違って，ただ自分のほうへ向いて自分に便利にできているだけだ。人たるものは，他人のために押す道がある。それなのに，自分の方へ手を向けて，他人のために押すことを忘れるのは，人にして人でない。すなわち禽獣である。恥ずかしいことではないか。ただ恥ずかしいばかりでなく，天理に反するから，ついには滅亡する。だから私は，常に，奪うことには益はなく，譲ることに益がある。譲ることに益があり，奪うことに益はない。これが天理である。よくよく味わってほしい。」

「商法は売って喜び買って喜ぶようにするべきである。売り手が喜び，買い手が喜ばないようでは道ではない。買い手が喜び，売り手が喜ばないのも道ではない。貸借の道も同じだ。借り手も喜び，貸しても喜ぶようにすべきである。借り手は喜ぶが，貸し手が喜ばないようでは道ではない。貸し手は喜んでいて，借り手が喜ばないのも道ではない。あらゆることはみなこのようである。私の教えはこれを法則とする。」

近江商人の「三方よし」

商売の基本は，「売り手よし，買い手よし」の売る人・買う人双方が喜ぶということのほかに，「世間よし」として，社会的に正当な商いをする事，すなわち「三方よし」が商売の秘訣。

石田梅吉（1685年 - 1744年）石門心学

仁（相手を思いやる心） 義（人として正しい心）
礼（相手を敬う心） 智（知恵を商品に生かす心）
という四つの心備えれば、
お客の「信（信用・信頼）」となって、商売はますます繁盛する。

商売の極意論

「満足」という商品と「感謝」という対価
「真実」という商品と「信用」という対価
世間から高い評価を得て、結果として永続的、安定的な利潤を獲得できる。

これら日本古来の実業倫理と、ロータリーの職業奉仕・職業倫理との違い。
実践の裏打ち

すなわち、例会での会員相互の親睦と切磋琢磨のなかで、互いに自己研鑽をとげ、自己の職業倫理を高めていくところです。

「入りて学び、出でて奉仕せよ」

職業奉仕とは、

第一に、自分たちが仕事を行う上で、奉仕の理想を体現すること
第二に、自分たちの事業及び専門職務において、知り合ったロータリアンではない人々に、奉仕の理想を分かち合うことです。

奉仕の理想とは、

「他人のために奉仕することが、やがて自らの人生を照らし、自分の人生を豊かにし、ひいては自分の職業を隆々と栄えさせる。」
他人のことを思いやり、他人のために尽くすこと。

第一のモットー

Service Above Self 超我の奉仕

第二のモットー

He profits most who serves best. 最もよく奉仕するものが、最も多く報いられる。
職業奉仕の実践倫理のモットー

ロータリー職業訓

1915年のサンフランシスコにおける国際大会の決議によって採択された「ロータリー道徳律」は、その後1922年に至り、国際ロータリー細則第16条の規定によって規範的効力を附与されたにも拘わらず、1981年1月1日以降、国際ロータリーにてその効力を失うに至った。われわれは、この道徳律の崇高な理念に深く共鳴するが故に、このことを甚だ遺憾に思うものである。

そもそもロータリーは、全世界の全てのロータリアンの共有するところであって、その思想の実態は、利己と利他とを調和せしめんことを目的とする一つの人生哲学ともいえるべく、ロータリアン個人のあらゆる社会関係において常に適用せらるべき行動哲学である。それは、生きとし生けるものに対する限りなき愛の心に基づくものであり、この心は、ロータリアン相互の切磋琢磨によって培われ、自己研鑽に励むロータ

リアンの世界において適用せらるべき根本原理である。

われわれは、この原理を再確認すると共に、自己の職業の社会的責任を深く自覚し、愛の心をもって職業を営むことを誓うものである。

1. すべての職業は、これを天職と心得、自己の職業に誇りをもつと共に、人の職業に対しては心からなる敬意を払うべきこと。
2. およそ職業は、自然の摂理に従って営まれなければならない、徒に効率のみを重んずるのあまり、それが自然の摂理に反することにならないよう常に謙虚なる心をもつべきこと。
3. 自己の職業にかかわる全ての人々と、互いに人間関係を尊重することが職業の繁栄につながることを自覚し、相互に満足と感謝と信頼の心がかよいあるよう心がけるべきこと。
4. 職業によってもたらされる所得は、適正な対価または正当な対価または正当な報酬に基づくべきものであり、もし、これに反する不正または不当な慣行のあるときはそれを排除するために、たゆまざる努力をなすべきこと。
5. 自己の製造もしくは配布する物品または自己の提供する労務もしくは知識については、それを受領する人のために、打算を超えた責任を自覚すべきこと。
6. 自己の職業の繁栄は、同業者の繁栄と共にあることを自覚し、常に業界の倫理基準を高めることに努め、もって共存共栄の道を模索すべきこと。
7. 職業を営むに際しては、常に人のためにも涙を流す心を失うことなく、かりそめにも、人の涙の上に自らの幸福を求めることのないよう心を配るべきこと。



President

会長の時間

紅葉が色鮮やかに私達の心をとらえる季節を迎えております。連休を利用して広島方面へ紅葉狩りに行って参りました。紅葉を見に来たのか、人の群れを見に来たのか判らない程、大勢の人々で賑わっておりました。車の渋滞には、随分と閉口させられました。

広島へ行った機会に、平和記念公園に足を運んで見ました。何年か前に、私の母校である関西学院の不心得な学生によって、平和記念公園の中の千羽鶴が放火されるという事件がありました。当時は、随分と話題になったものでした。当時の状況を思い起こして、心を痛めながら千羽鶴の設置コーナーを訪れて見ました。事件の痕跡は何も残っていませんでした。訪れた人々は、それぞれの思いで千羽鶴に向き合っていたようです。

広島平和記念資料館にも足を運んでみました。資料館を訪れる毎に、ハイテク技術を縦横に使用し、展示が益々スマートになってきているとの印象を受けました。私が最初に資料館を訪れた40年余り前には、建物も現在のように立派なものではなかったように思います。展示品からは、爆撃当時の悲惨な光景が直接心に響いてきたように記憶しております。

それにしても、私達人類は、何時になっても戦争と縁を切ることができないようです。「こちらから戦争を仕掛けなければ、戦争は起きない。交渉によって戦争は回避できる。」と主張する人もいるようですが、そんなに単純なものなのでしょうか？なかなか一筋縄では行かないと思います。戦争回避について考えさせられる旅となりました。





Donation **ニコニコ報告**

鹿間 行雄

田中申明さん，本日の卓話よろしくお願ひします。楽しみにしています。

岡本 崇司・竹原 俊三

田中申明会員，本日の卓話ご苦労様です。

田中 申明

本日，卓話をさせていただきます。

大橋 卓司

田中申明会員，本日の卓話，楽しみにしております。

伊藤 勝之

ホームクラブを長く欠席していましたので。

**増田耕太郎・中谷 利幸・矢野 聡
京谷 慎平・柿木 國夫**

花を飾りましょう。

井野 隆弘・岩崎 勇人

早退致します。



Secretary **幹事報告**

第19回 通算1383回

1. ソロプチミスト加古川のバザーチケットのご購入をお願いいたします。

2. 回覧その他

ロータリーレートが再度変更になります。12月より1ドル96円です。

高砂市国際交流協会より，11月16日に行われました国際交流会参加に対する礼状が届いております。



Neighbor-club information **近隣クラブINFORMATION**

クラブ名	変更内容	日時・場所
加古川ロータリークラブ	プロバスクラブとの合同例会のため	12/9(火)時間変更
〃	年末家族例会のため	12/16(火)
〃	祝日のため休会	12/23(火)
〃	休会(定款第6条第1節cによる)	12/30(火)
明石西ロータリークラブ	クリスマス家族会のため	12/18(木) 12/20(土)移動例会
〃	休会(定款第6条第1節cによる)	12/25(木)
〃	祝日のため休会	1/1(木)
明石ロータリークラブ	親睦家族例会のため	12/17(水)移動例会
〃	休会(定款第6条第1節cによる)	12/31(水)
加古川中央ロータリークラブ	年末家族例会のため	12/18(木)移動例会
〃	休会(定款第6条第1節cによる)	12/25(木)

プログラム予定

12月3日(水)	12月10日(水)	12月17日(水)	12月23日(火)
上期事業報告	年次総会 上期事業報告	卓話 廣瀬 明正 会員	新世代会議 於:高砂市青年の家 体育館 【新世代委員会担当】

例会記録 2008. 11. 26 (水) 通算1459回

ソング 「我等の生業」「歓迎歌」

四つのテスト 雑誌広報委員会 渡辺弥生委員長

来訪ロータリー
アン報告 植杉安夫様(高砂R.C.)
妹尾敏昭様(高砂R.C.)

出席報告 11月19日 会員数 52名 欠席者 8名 出席率 84.62% <修正による>
(この内出席免除者9名)
11月26日 会員数 52名 欠席者 10名 出席率 80.77%
(この内出席免除者9名)

播磨ゆかりの偉人伝 ⑱

赤松 円心 (あかまつ・えんしん) 室町幕府創設に貢献

平安中期の村上天皇の末裔、源季房(みなもとのすえふさ)が祖先というから毛並みのよさは申し分ない。円心は法名で名前は則村(のりむら)。赤松家の4代目である。鎌倉時代から戦国時代にかけて多くの有力一族を輩出した名門・赤松氏隆盛の基礎を築いた。

円心は建治3(1277)年、現在の赤穂郡上郡町赤松で生まれた。千種川流域を支配した佐用荘の地頭を継ぐことになるが、その反骨精神を發揮して天下に名前をとどろかせたのは50歳を過ぎてからだった。

鎌倉時代後期は北条氏が実権を握り、専制政治をほしのままにしていた。その時の天皇、後醍醐天皇は面白いはずはない。当時、幕府軍の大將・足利尊氏も幕府へ反旗を翻した。

倒幕の動きが起きた。「元弘(げんこう)の乱」である。円心はこれに参戦。元弘3(1333)年、赤松軍を率いて京に一番乗りし、幕府軍と戦った。そのとき55歳。当時としては人生も終わりのころである。その意味でも大器晩成型だった。

円心の戦いぶりは“ゲリラ戦法”だった。荘園の番人や浮浪者など戦の経験のない者を動員、彼らに弓矢や槍を持たせルール無視の攻撃をさせた。幕府出先の六波羅探題(ろくはらたんだい)には直接攻めず、後方の屋敷に火を放って京を騒乱に巻き込んだ。

こうして鎌倉幕府はピリオドを打ち、後醍醐天皇による、いわゆる「建武政権」が誕生すると、円心の活躍はさらに目をひいた。今度は後醍醐天皇を敵に回すことになる。

朝廷と対立した足利尊氏は一時旗色が悪くなり九州に逃走。尊氏側についた円心は、追撃の新田義貞軍を白旗城にひきつけて攻撃に耐えて勝利に貢献、尊氏の室町幕府創設への道を切り開いた。その活躍により播磨守護職に任命されている。

上郡町苔縄に法雲寺を建立。円心の手植えといわれる樹齢約700年のビャクシンスギが今なお境内にそびえたっている。また、上郡町河野原の宝林寺には「円心館」があり、資料の展示のほか、円心らの木坐像が安置されている。

(主な参考文献=神戸新聞社・編「播磨ゆかりの50人」神戸新聞総合出版センター)



会長 鹿間行雄 幹事 岡本崇司 クラブ会報委員長 菊地敬子

例会日時 毎週水曜日 12:30 例会場 高砂商工会議所会議室(2F)

事務局 高砂商工会議所内 〒676-0064 高砂市高砂町北本町1104 電話 (079) 443-0500(代)